



CONTENTS

特集 ① ふだん着のあさごの景色

これから始める あさごの景観まちづくり

特集 ② 座談会 景観を「たのしむ」

あさご・景観まちづくり掲示板

# あさご いろいろ

あさご景観まちづくり情報誌

VOI ①



# ふだん着のあさごの景色

特集 1

「景観は空気のようなもの」と言われます。私たちのふだんの暮らしの中ではあまりにもあたりまえ過ぎて、景観を意識することは少ないかもしれません。でも、ちょっと見方を変えてみれば、「あさごって、ええとこやなあ」と思える景観をあちこちで見つけることができます。ふだん着の景色も胸を張って自慢できる素晴らしいものです。

そこで今回は、いろんな切り口から朝来市の景観を紹介し、その素晴らしさや魅力をみなさんと共有したいと考え、特集を組んでみました。

## 自然 × まちなみ × 人

朝来の景観は、自然、まちなみ、人がうまく調和しながら形づくられてきました。背後の山並み、家並み、そして人々の暮らしの様子がいまって、生き生きとした表情を見せます。



## 山、川、田んぼ

円山川を主軸として、糸井や東河などの支流ごとに、また市川沿いにあさごならではの田園風景が広がっています。





桜並木の道(円山川沿い)

道端には道しるべ[上]やお地蔵さん[下]



豊かな緑の中で子供たちは育ちます(山東・矢名瀬)

路  
傍の  
風景



街道町では今も人や車の往来が絶えません(和田山)

こんな風景が普段の暮らしで  
楽しめるなんて・・・

風  
景を  
演出

地元の皆さんが魅力アップに向けて  
様々な方法で手をかけている風景を集  
めました。風景を活かしたまちづくりが  
あちこちで取り組まれています。



あさごオープンガーデンの取り組み(佐囊)



町並みを活かした竹田お城祭り(竹田)



住民手づくりのイルミネーション(生野・口銀谷)



雲海に浮かぶ竹田城跡(竹田)



八代の茶園(八代)

と  
っ  
て  
お  
き

あさごに暮らしている私だからこそ存分に味わえる、とっておきの景色や自慢の風景。市民アンケート調査などから代表的なものをピックアップしました。



比叡の段丘と背景の粟鹿山(山東)



“じろはったん村”大蔵の養蚕農家(岡)



鉱山社宅の残る口銀谷の町並み(生野)



大らかな流れの円山川(和田山)



藤原次郎(ふじわら じろう) 映像作家  
1955年、朝来市和田山町生まれ。生野高校、大阪芸術大学映像計画学科卒  
<http://www.towanoe.jp/jiro/>  
表紙写真「二宮神社の十日えびす」は藤原次郎さん撮影

現在、朝来市和田山町出身で映像作家の藤原次郎さんに依頼し、映像を通して朝来の素晴らしさを伝える記録映像の制作を進めています。  
藤原さんはこれまでにも、生野まちづくり工房簡屋の保存再生や栃原小学校の閉校までの記録、また糸井の大カツラの記録など、朝来市内の様々な情景をとらえた映像作品を制作されており、テリリアワード(アメリカ)ウイナー賞及びファイナリスト賞、ワールドメディアフェスティバル(ドイツ)金賞及び銀賞を受賞するなど、海外でも高い評価を得ています。



映像「朝来スケッチ」制作中!

# これから始める あさごこの景観 まちづくり

朝来市は、景観を活かした独自のまちづくりを進めるために、平成24年2月に「景観行政団体」に移行しました。これから、地域の魅力的な景観や資源を活かした様々なまちづくり(景観まちづくり)に取り組んでいきます。

朝来らしさを再認識し  
まちづくりの資源に

景観を活かしたまちづくりへ

地域を自分たちで良くする  
景観まちづくりへ

人を惹きつける  
景観の魅力を発信し  
まちの活力へ



景観計画策定委員会



市民会議のワークショップ

## 景観計画と景観条例をつくります

朝来市には、竹田城跡や生野の鉱山まちなどのほか、矢名瀬や高田などの街道町や、さとう高原や粟鹿山など各地に魅力的な景観があり、円山川や市川の河川景観にも特徴があります。こうした魅力的な景観を活かしたまちづくりを積極的に進めるため、現在朝来市全体を対象とした景観計画と景観条例をつくる作業を進めています。

「景観計画」では…市の景観形成の理念・目標(どんな景観を目指すか)や、方針(どんなことに取り組むか)、さらに良好な景観を守っていくために必要な内容(ルールなど)を定めます。

「景観条例」では…市の景観施策の基本的な事項を定めるとともに、景観法に基づいて必要となる手続きなどを定めます。

景観計画の策定にあたっては、3月下旬から市民や各種団体の代表者、学識経験者などからなる「景観計画等策定委員会」を設置し、ワークショップなどで意見を聞きながら作業を進めています。今後、パブリックコメントなどを実施し、市民の皆さんからの意見や要望を反映させながら、平成25年度中の施行を目指して市民の皆さんと共に取り組みを進めています。

## 鉱山まちの奥銀谷地区なども 景観形成地区に

現在、生野町口銀谷地区と和田山町竹田地区が兵庫県景観形成地区に指定されています。この2地区に加えて、生野町奥銀谷地区や太盛地区にも、鉱山まちとして伝統的な町家やトロッコ道、水路や間歩など独特の景観が広がっており、以前からその歴史的価値が高く評価されていました。

奥銀谷地域自治協議会などが取り組む景観まちづくりのなかで、住民自らが資源を調査したり、奥銀谷の地区指定に向けてまちづくりのルールとなる景観基準づくりなどの準備を進めています。

## みんなで選んだ「いいね！」 奥銀谷・景観カルテづくり ワークショップ

鉱山町の特徴を色濃く残し歴史文化資源も豊富な奥銀谷地域において、住民自ら資源を調査するワークショップが、去る3月25日に奥銀谷地域自治協議会の主催によって開催されました。参加者で選んだ奥銀谷の「いいね！ベスト10」などの成果は、今後「奥銀谷景観カルテ」としてまとめられることになっています。



# 景観をたのしむ

座談会

朝来市の景観や魅力資源を活かした活動を進めておられる市民の方々とともに、朝来市の景観の素晴らしさや、それらをたのしむヒントなどを探っていきます。

【聞き手】小浦 久子さん  
大阪大学大学院准教授  
朝来市景観計画策定委員会委員長



谷野 覚さん  
朝来花いっぱい協会

細見 守さん  
与布土地域自治協議会



**小浦** 朝来市は合併したそれぞれのま  
ちにいろんな風景があり、それらを活か  
していく活動があります。風景を大事に  
していくことはこれから策定していく市  
の景観計画でも非常に重要だと思いま  
す。今日は、皆さんの活動のお話から聞か  
せていただきたいと思っています。

## 暮らしと景観はつながっている

**細見** 最近は山林が荒れているとい  
う話がよく出ます。手つかずの状態でなん  
とか山に関心を持ってくれへんかな、と  
いう話をしていて、集落単位で持ち山を  
管理してもらって、全体的にきれいにな  
らんかなというのをお願いしています。

**小浦** 山は管理するかしないかでそれ  
ぐらい違うんですね。でも、山の手入れ  
は人手がいることですよね。最近では  
ボランティアで山の管理の仕組みをつ  
くる試みがみられます。所有者が「もう  
いいや」とほったらかしているのが問  
題なんですね。

**細見** そうなんです。個人持ちの山はな  
かなか手がつけれられないのですが、集落  
で所有する山はなんとかならんかなと。  
何とかこの機会に手を入れて、なつかし  
い原風景を取り戻そうという話をしてい  
るんです。

**小浦** 山が生活から遠くなったんですね。  
山が荒れると川が荒れて、まちが荒れる

悪循環になる。全体像の中で環境保全と  
セットで考えていけたらいいですね。竹  
田城周辺の山や緑がなければ竹田城も  
台無しですから、とても大事なことだ  
と思いました。

谷野さんは花いっぱいの活動をされ  
ていますが、いかがですか。

**谷野** 「朝来花いっぱい協会」を設立し  
まして、会員を募集し、各会員に毎年2万  
5千ポットくらいの花苗を配布して、そ  
れぞれの家庭や地区の公民館、バス停な  
どに植栽して広めてもらっています。会員  
は個人が約30名、それと団体や地区など  
が約18団体くらいです。小学校、中学校、  
金融機関、養護老人ホームみたいなところ  
もあります。

大勢の人に見てもらおうということで、  
オープンガーデンを毎年5月から6月に



あさこオープンガーデンの取り組み

かけて開催しています。今年も、きれいにされとる20箇所ほどの方に協力いただきたい家の庭の中にも入れてもらっており、いろんなところから見に来てもらっています。

**小浦** 会員の方が手伝って下さっているのがいいですね。山があつて、人が生き生きとしているというのは特徴的な朝来の風景になるし、ちよつと違った見方をするだけで変わりますよね。景観という縁遠いように思われがちですが、実はすごく近い。皆さんの活動そのものがあさこの風景を作っていると感じますね。

## 見てもらえるとうれしいから手をかける

**谷野** 花いっぱい協会はお休みの日などに活動するんですけど、やはり若い人が少なく、年寄りというか我々の世代が結構多いので、後継ぎができていくのが心配になってくるんですね。

**小浦** 高齢化というか、若い世代の参加が少ないというのは、与布土地域も同じ悩みがあるのではないのでしょうか。

**細見** どこでも少子高齢化というのは避けて通れないけど、「なんとかしようや」といろいろやってます。結局、荒れていくから、魅力がないから、余計帰って来んということになるので、逆に故郷の原風景を維持してやったらまた若者が「ああ、やってくれとんな」というので

「帰ってせんなん」っていう気にならんのかなと。

**小浦** 景観のほうからも、人や活動の支援ができるといいですね。

**細見** 耕作放棄については「みんなでなんとかやろう」ということで自治協議会に「みりの郷部会」という部会を作つて、耕作放棄田をなんとか景観づくりで再生してやって欲しいということで、農業委員さんとかとタイアップして、耕作放棄田を無くすための営農組合を立ち上げるとか、いろんな形の取組みをやつてもらっています。

**小浦** どんな作物があるんですか？

**細見** もち米やさつまいもなどです。都市農村交流で神戸の本山地区と交流しており、さつまいも掘りとかで来ていたり、こつちから酒蔵巡りやスイーツ巡りに行つたりしています。与布土地域

与布土地域自治協議会による生き物観察会



にもクラインガルテンができませんか、朝来市にお願いをしとるんやけど(笑)。

**小浦** 高齢化で関わる人が減ってくると、風景に現れてしまうというのがこれまでの話でよくわかります。ですから営みを大事にしてみんなが関わってもらおうような仕組みづくり、基盤づくりが大事ですよ。人が来て見られるとみんな元気になるじゃないですか。だからきつと山も見られると、ちよつと手を入れようかという気になつてもらえるかもしれませんね。

**谷野** はい、そうですね。やっぱり人に見てもらおうと思つたら力が入りますよね。

**小浦** これから朝来市で作ろうとしている景観計画は、都会からあさごを知らない人が来た時にきつと役に立つと思うんですよ。都会から来て山を切り始めるようなことがあつたら景観を損ねないように事前にやり取りできるとか、そういう仕組みとして使っているところが他にもあるんですよ。単にルールだけを作つて規制されるものではないですよ。

## 元気な子どもや女性のパワーを活かして

**小浦** 子供たちに向けて発信したいメッセージはありますか。未来の風景として。

**谷野** 旧朝来町では小学校5・6年生を対象にわんぱく教室というのをやっています。月に1度、サイクリングとか遠足と

か朝から晩まで歩く競歩、キャンプ等、いろいろやっています。

**細見** 自治協議会の部会では、子どもたちを連れてオオサンショウウオなどいろんな生き物の観察をやっていますし、夏休みに2泊3日の「わくわくキャンプ」で親から子供を完全に離してキャンプをさせます。地域の者が子供たちに関わつてその子らが大きくなったときに「自分たちはこうしてもらつた、ああしてもらつた」ということで、もしかしたら帰つて来てくれるようになるかもしらんで、と(笑)

**小浦** お話をお聞きしていて女性陣が頑張っているように感じましたが、元気が多いのですか。

**細見** 女性のパワーは違いますね。これまで女性はそういう場に出てくる機会がなかったんでしょう。男なんかより、元気が女性を引っ張り込んでいるところのほうで活動が活発になつてる(笑)。

**谷野** なかなか上からの押し付けでは参加も少ないです。やっぱり下から持ち上がってきた行事のほうが参加者は増えてきます。

**小浦** 子どもたちにまちを知ってもらい、さらに女性をはじめいろんな世代の人が関わっていくことが大事だと思います。景観計画を作る中でもそういう機会があつたらいいのかもしれないね。ありがとうございます。

# あさご・景観まちづくり 掲示板

## 兵庫県景観形成重要建造物等に指定されました！

このほど、兵庫県景観形成条例に基づき景観重要建造物に、朝来市から次の2件が指定されました。



進藤家住宅(佐中千年家・佐囊)



生野書院(郷土資料館・生野口銀谷)

平成19年度の生野まちづくり工房井筒屋に続いての指定です。

## 「都市景観大賞:景観教育・普及啓発部門」優秀賞を受賞しました！

口銀谷の町並みをつくる会が、このほど景観まちづくり学習などの良好な景観に関する意識啓発や知識の普及等を行っている優れた活動を選定・顕彰する「都市景観大賞:景観教育・普及啓発部門」(主催:「都市景観の日」実行委員会)の優秀賞に選定されました。



銀谷祭りの風景(生野)

## 「朝来市・景観写真コンクール」作品募集！

あまり知られていないけど、この景色が好きだ、この風景を残したい、そんな朝来市の魅力的な景観写真を募集します。どなたでも応募できます。詳しくは下記連絡先まで。

テーマ  
『朝来市の魅力、再発見!』

### 【募集期間】

平成24年10月1日(月)～

11月30日(金)(当日消印有効)

※主催者及び審査員が選考決定し、大賞1点・準大賞3点・その他の賞を決定、表彰します。

※応募作品は市内の施設等で展示する予定です。



## あさいろの編集に参加してみませんか？

今回、産声をあげたあさご景観まちづくり情報誌ですが、皆さんからのお声をどんどん採り入れ、一緒に創っていく情報誌として育てていければと考えております。

「こんな景観を取り上げたら」「こんないいところがあるのに」といった思いをお持ちの皆さん、ぜひ一緒に考えていきませんか。詳しくは、下記の連絡先にお問い合わせください。

### 編集後記

このほど、あさごの景観を活かしたまちづくりを進めるにあたって情報誌を発行することになりました。景観といえば竹田城跡や生野の鉾山町をイメージするかもしれませんが、私たちの普段の暮らしの中にも磨けば光る宝物のような景観がたくさん散りばめられています。

そこで、「朝来らしい色とりどりの景色」の素晴らしさを見つめ直して、こういう思いを込めて、「あさいろ」というタイトルにしました。今後ともご愛読頂ければと思います。(M)



朝来市石田にて

### 街かどスナップ vol.1

地藏堂の前に腰掛けている仲の良さそうなおばあちゃん、幼なじみだそうです。

「あさごのいいところ、いっぱいあるよ」とおっしゃっていたのがとても印象的でした。いつまでもお元気で。



### 【表紙の写真】

- ① 春・立雲峡から竹田城跡を眺める
- ② 夏・与布土の田園風景
- ③ 秋・生野の秋祭り
- ④ 冬・二宮神社の十日えびす